

日精エー・エス・ビー機械株式会社

INTERVIEW

技術系 (設計、生産技術・管理系)

林 大地さん

はやし だいち

技術部 機械設計課 機械グループ

信州大学大学院 工学系研究科 機能機械学専攻卒



入社してから、現在までの歩みを教えてください。

入社後5年間は、技術研究所に所属していました。機械がきちんと機能しているのかといったテストや、材料メーカーから依頼された材料のテストなどを行っていました。最初の5年で、プラスチック製品に関する知識や、基礎となる技術を取得できました。この4月に異動となり、機械設計課に配属となりました。品質改善に関する設計と、そのための資料の作成や、各々の機械に必要な部品の選定と発注業務を担当しています。

どんなときにやりがいを感じますか。

何が嬉しいかと言われると、自分が考え、設計したものが、人から「良かったよ」と評価されることです。

これまでのキャリア

平成17年4月入社
技術研究所5年 → 機械設計課1年目(現在)

ミニアンケート

- オフの過ごし方 家族と過ごす。体を動かす(登山、スキー)。
- 大切にしている言葉 しんどいことは笑顔でやる。意志あるところに道は開ける。
- 学生時代の思い出 フリースキーに、はまっていたこと。

1日のタイムスケジュール

- 8:30 入社、スケジュール確認、課ミーティング
- 9:00 部品手配
- 10:00 休憩
- 10:10 現場対応
- 12:00 昼食
- 12:45 機械設計検討、品質改善に関する検討
- 15:00 休憩
- 15:10 作図
- 20:00 退社

詳細・応募 [リクナビ2012へ](#)

当社のポイント

業界の歴史を切り拓いてきた独自の技術力で全世界に展開するグローバル企業。

当社は、PETボトルをはじめとするプラスチックボトルをつくる産業用機械メーカーです。当社の歴史は、プラスチックボトルを製造する機械(ストレッチブロー成形機)の基本特許を約30年前に取得したことから始まり、その技術開発とともに、業界の歴史を切り拓いてきました。飲料などの容器として、急速に世界に広がったPETボトルは、薬品・化粧品・衛生用品・OA機器など、様々な分野で利用が拡大してきました。それに応じる形で、当社はこれまで世界中に活動の拠点を広げ、現在、売上の約9割は海外市場が占めています。



代表取締役社長 青木高太

今後の新たなマーケットは、ガラス容器などからプラスチック容器への置き換えが期待できる分野。現在、注目が集まっている「ECO」をキーワードに、世界を舞台に挑戦し続けています。

採用のポイント

広い視野で「気づける」技術者センスと「世界」を目指す「熱い魂と行動力」。



総務部総務課人事グループ 田中 和明さん

理系の学生に限ったことではありませんが、「継続的改善への試み」を行動指針に掲げる当社では、視野を広く持てる人を求めています。既存の技術に対して、従来と異なった視点で考えたり、新しいやり方を自分なりの方法で試したり、その結果、生じた問題を分析するといった一連の流れの中で、広い視野を持って仕事に挑める人は、技術者としての高いセンスに繋がると考えているからです。

また、考えて終わり、分析して終わりではなく、結果によっては、「組織を動かす!」くらいの気力と行動力のある人に出会いたいですね。誰にも負けない強みがある人は、魅力的です。何よりも、「必ず世界」の機械を作るんだ、という意気込みに期待しています。

当社に興味がある方は、まずはリクナビ2012より、エントリーをお願いします。その後、更に詳しい当社の様子や、会社説明会の日程などをご連絡させていただきます。
写真:社内レクリエーションも全力の田中さん

COMPANY DATA

事業内容: PETボトル生産機「ストレッチブロー成形機」及びその専用金型、付属機器、部品の企画・研究開発・生産・販売・アフターサービス
設立: 1978(昭和53)年
代表者: 代表取締役社長 青木高太
資本金: 38億6,090万円
売上高: 連結: 149億2,609万円 単独: 96億9,166万円(2009年9月期)
従業員数: 連結: 1,112名、単独: 178名(2009年9月末現在)
平均年齢: 単独: 38.4歳(2009年9月末現在)
事業所: 本社・工場(小諸市)、技術研究所(上田市)、ほか全額出資子会社国内1社、海外13ヶ国14社

■ 問い合わせ先
〒384-8585 小諸市甲4586番地3
総務部総務課人事グループ/田中
TEL.0267-23-1560(代表)
E-mail: jinji@nisseiasb.co.jp
URL: http://www.nisseiasb.co.jp/

取材メモ

プラスチックを思い通りに加工する技術

設計部門、工場を見学し、現場の雰囲気がとても良い会社だと感じました。私たちが日常見かけるPETボトルは、正確にボトルを作り上げる技術や、ガラス風に見える技術などが詰まった、ASBの機械から作り出されていました。一つの機械を造るために、様々な部署との連携が必要なので、技術職もコミュニケーション力がとても必要だと感じました。(三川 和優)



<参加者>
三川 和優
小松 潤哉
照屋 智美
山崎 真由香

ニケーション能力も、特に重要だと思います。

大学で学んだことは活かされていますか。

大学時代に学んだ知識というよりも、卒業研究や修士論文作成のときに、自分のやりたいことを自分で組み立て、どういう試験をして、どう結果をまとめるか、といったプロセスが重要だと思っています。どんな仕事に置き換えても、まず計画して、自分で実行し、それを評価するという経験は、大いに役立っていると思います。

就職活動では、自分の専攻を活かせる仕事を選ぶべきか悩む人は多いでしょうが、私は特にこだわっていませんでした。何か学校で実績を残したと言えるならともかく、自分の専攻以外にも自分と合うことはあるだろう、という気持ちも大事ですよ。